

エコアクション 21

*** 環境経営レポート ***



C A R ・ D O C T O R
FUKAMI

 有限 株式会社 カードクター・フカミ
カーナビ倶楽部 カードクター・フカミ

対象期間

2023.10.1～2024.9.30



2025年3月31日
全国アドバンスクラブ会員
有限会社 カードクター・フカミ
代表取締役 平川 好美

環境経営方針

環境経営理念

起業以来、「地域の発展と豊かなカーライフを」を基本理念としており、また、私たちが育った日田は「水郷ひた」と呼ばれるように豊かな水と緑に囲まれており、この自然を守るために、近年問題とされている環境問題、省エネも主要課題とし、「出来ることから少しずつ」をモットーに、意識改革をし、具体的な取り組みをします。

環境経営行動方針

当社は、環境理念に基づき「地球環境を守ろう」をスローガンに、環境との共生・調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持ち、全従業員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。そのために、以下の「環境経営行動方針」を定め、継続的改善に努めます。

（１）二酸化炭素排出量・削減の推進（自社における削減）

事業所内の整理・整頓・清潔・清掃の４Ｓ活動に留意し、事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。また社有車におけるエコドライブの実践やエコ整備（環境汚染防止整備）の普及・拡大を継続的に推進します。

グリーン購入法「特定調達品目」のエンジン洗浄を実施します。

（２）廃棄物排出量・削減の推進

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をします。そのために、分別処理を推進します。

（３）総排水量・削減の推進

事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。

（４）エコ整備・エコ車検の推進（お客様における二酸化炭素の削減）

自動車における燃費の向上による削減や、有害な排出ガスの削減を目指す、エコ整備（環境汚染防止整備）を強力に推進します。そのために、エコ整備の有用性についての説明技術やエコ整備技術の向上に努めます。また、燃費改善に向けエコノートの活用を推進します。

（５）グリーン購入による省資源化の推進

省資源のために、リサイクル自動車部品の使用を積極的に推進します。

（６）シンナーなどの化学物質を適切に管理します。

（７）環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

平成 20 年 4 月 17 日制定

全国アドバンスクラブ会員

有限会社 カードクター・フカミ

代表取締役 平川 好美

令和 1 年 9 月 30 日改定

◆ 事業の概要

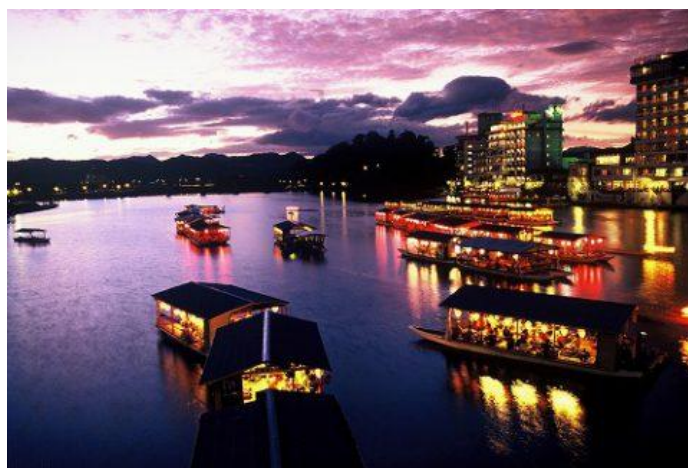
- (1) 事業者名
有限会社 カードクター・フカミ
代表取締役 平川 好美
- (2) 所在地
〒877-0072
大分県日田市大字友田（新治町）10-1

- (3) 環境保全関係の担当者連絡先
環境管理責任者 平川 好美
担当者 同上
連絡先 電話： 0973-23-6072
FAX： 0973-23-9359

- (4) 事業規模
社員数 8 名
社屋床面積 831.63 m²（工場）
144.00 m²（事務所）

- (5) 事業内容
自動車の整備及び販売、
損害保険代理店業務

- (6) 対象範囲
全組織・全事業活動



◆ 環境経営目標とその実績

(1) 現状と活動状況

当社の過去4年間の環境負荷実績推移です。

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素 排出量	総量 (kg-CO ₂)	18131	18292	18548	17932
	原単位 (kg-CO ₂ /売上100万円)	154.9	150.3	147.2	125.4
	年度比較割合 (%)	100%	107%	105%	123%
産業廃棄物 排出量	総量 (kg/年)	5763	9721	14020	13300
	原単位 (kg/売上100万円)	49.2	79.9	111.2	93.0
	年度比較割合 (%)	100%	162%	226%	189%
水使用量	総量 (m ³ /年)	621	570	622	487
	原単位 (kg/売上100万円)	5.3	4.7	4.9	3.4
	年度比較割合 (%)	100%	114%	119%	156%
エコ整備	台	355	372	404	437
自動車リサイクル部品	kg-CO ₂	3749	2944	2846	2375

(令和5年度； R5年10月～6年9月)

（２）今年度以降の目標

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量については、エコアクション 21 の活動継続により削減、効率改善を進めてきました。成果と課題をもとに、以下の中期環境経営目標を策定し、更なる継続的改善を図ります。

令和 3 年度以降の中期環境経営数値目標

項 目		令和3年度	令和4年度	令和 5 年度	令和 6 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	18292	前年度 1 % 減	前年度 1 % 減	前年度 1 % 減
廃棄物再資源化の促進	廃棄物の分別を徹底し、委託業者とのコミュニケーションも含めて、廃棄物のリサイクル化を推進する。数値目標は、可燃ごみと汚泥を除くすべての廃棄物を対象として、100%再資源化を維持する。（※焼却ゴミ、汚泥を除く。）				
廃棄物再資源化率	%	100	100	100	100
水使用量	m ³	570	前年度 1 % 減	前年度 1 % 減	前年度 1 % 減
自動車リサイクル部品 （グリーン購入）	kg-CO ₂	2944	前年度 1 % 増	前年度 1 % 増	前年度 1 % 増
エコ整備	台数	372	前年度 10 % 増	前年度 10 % 増	前年度 10 % 増

・整理・整頓・清掃・清潔（4S）の推進については、引き続き取り組む。

その他の活動管理目標

- ・当社では、シンナー類の化学物質を使用しています。環境法規を遵守すると共に使用、保管を適切に管理していきます。
- ・リサイクル部品（グリーン購入）の推奨は、二酸化炭素排出量の正確な把握が難しくなってきたが、組みを継続する。
- ・LPG は使用量が少ないため、削減目標は設定せず、日常活動で管理していきます。
- ・CO₂ 排出量には LPG を含めて管理していきます。

◆主要な環境経営計画の内容

（１）数値目標を達成するための取組

1) 二酸化炭素排出量の削減

a) 電力の削減

- ① 室内エアコンは、夏 28℃、冬は 20℃を原則とする。
- ② 買い替え時には、省エネタイプの機器の導入する。
- ③ 昼休みの照明消灯による節電、未使用時の消灯、パソコンは極力待機電力とする。
- ④ [節電]ステッカーを貼り節電意識の徹底を図る。

b) 灯油の削減

- ① 冬季の暖房用灯油は、室内温度により調整し室温に応じて消火する。

c) ガソリンの削減

- ① 社用車の省エネ運転の推進
整備車両の引取り、納車時のエコドライブの徹底。
- ② 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。
- ③ 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検を実施する。
- ④ 代車の燃料の管理をする。

2) 廃棄物排出量の削減

分別を徹底する、再利用・再生利用の比率を上げ、削減に努める。

- ① 一般廃棄物：新聞紙はフロアマットや塗装のマスキングに再使用する。

- ② 産業廃棄物：金属クズ、廃プラスチック、廃タイヤ、廃油の分別・再生利用化・熱回収化・資源化 阻害
- ③ 裏紙の使用

3) 水使用量（節水の取組）

- ① トイレ排水の削減に努める 水量の調整
- ② こまめに節水に努める。洗車時に流しっ放しで洗淨しない
- ③ 節水を促す為の啓蒙表示をする

4) エコ整備の推進

- ① 説明用パンフレットを準備する。
- ② お客様にエコ整備の燃焼改善による二酸化炭素削減の説明と普及を図る。

5) 自動車リサイクル部品・使用の推進

（グリーン購入）

- ① 部品見積りの時に新品とリサイクル部品の価格差を示す。
- ② リサイクル品使用時の CO2 削減量を算出する。
- ③ CO2 削減量を顧客啓発に利用する。

6) 整理・整頓・清掃・清潔（4S）の推進

- ① まず整理（1S）、「要らないものを捨てること」から始める。その結果、スペースが空く。反面、廃棄物が増加しても当面はやむを得ない。

7) グリーン購入の推進

- ① 事務用品、事務用機器について環境配慮型商品の使用を推進する。

8) 化学物質の適切な管理

- ① 関係法令を遵守する。
使用しているシンナー類を確認する。盗難防止の処置を徹底する。

9) その他

- ① その他、環境に関する情報の収集。

（2）その他の取り組み事項

- ① 社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。
環境への取り組みを当社社員心得に明記し、朝礼時唱和することにより意識の顕在化を図る。
- ② 始業前、周辺道路の毎日実施している清掃を継続する。
- ③ 市全体の環境を考えていく。
- ④ 車歴が長くなり、黄ばみ、くもりがあるヘッドライトを従来は交換していたが、交換せずにヘッドライトを再生することで CO2 削減する。（ヘッドライト再生ヘッドライトスチーマー）



◆前年度の運用の結果と評価

(1) 目標と結果 令和5年度の結果、目標、達成度

項 目		令和5年度の結果	令和5年度の目標	達成度 (結果/ 目標)	評価
【二酸化炭素】	kg-CO ₂	15924	18362	102%	○
・電力	kWh	26091 (33636)	31558	121%	○
・ガソリン	リットル	2692.	2769	103%	○
・灯油	リットル	220	363	165%	○
・LPG	kg	25	27	108%	○
【廃棄物の 再資源化率】	%	100%	100%	100%	○
【水使用量】	m ³	487	616	126%	○
【エコ整備】	台	437	444	98%	×
【グリーン購入】 中古品使用によるCO ₂ 排出削減	kg-CO ₂	2375	2875	83%	×

注1) CO₂、水など削減目標の達成度の計算は、結果／目標、エコ整備台数は、目標／結果とした

注2) 評価は、○：達成、×：未達である。

注3) 電気のCO₂排出係数は、九電の2018年度調整後排出係数0.347kg-CO₂/kWhを使用。
電気の令和5年度実績下欄()は、太陽光発電(自家消費分 7545kWh)を含む。

(2) 評価と今後の取組 ※化学物質(シンナー類)は数量把握、適正管理を実施する。

	評価と今後の取組
二酸化炭素排出量	新事務所がオープンし、営業範囲が広くなり、旧事務所跡を作業場、洗車場に改装し、冷暖房完備にしましたが、電力は、太陽光発電(自家消費)によりCO ₂ 排出量は抑制できた。灯油は、冬、洗車のお湯使用は増えたが減少。ガソリン使用は出張や移動が増えたが、代車の貸し出しは、お客様に協力していただき減少、前年度同水準。これからもお客様に協力をお願いして、室温管理を徹底していき、エコドライブの教育、実施による低減に取り組む。
廃棄物産業 ①再資源化率 ②排出量削減	産業廃棄物は、ほとんどがリサイクル業者は再資源に回され、産廃の廃プラ、鉄骨は、今年度、钣金、整備が増加し排出量は増加したものの、分別徹底により再資源化率100%を維持できた。
水使用量	新事務所がオープンし、営業範囲が広がった割には、前年度より減少。コーティング等の仕事量がかかなり増えたが、社員の努力で少々の洗車はバケツを使用しています。ホース先端へのワンストップノズルを取り付けて節水も続けていく。
エコ整備	車検・点検時に、お客様にエコ整備の提案を実施。ヘッドライト再生ヘッドライトスチーマーの声かけを実施かなりの増加。エコカーが増えてきているので、エコオイルはかなり増えてます。お客様にアピールを続けていく。
グリーン購入 (自動車リサイクル部品・ 使用の推進)	本年度もリサイクル品、リビルト品を使い、お客様に提案することができた。リサイクル業者からのCO ₂ 削減効果の数値を報告してもらい、削減量を増やす努力をする。
※化学物質の管理	環境法規(労働安全衛生法)は遵守している。今後共、法規制を遵守すると共に漏洩などが発生しない様に使用上も気を付けていく。

(3) 社員の意識高揚

環境理念、環境行動方針を毎月1回の会議、朝礼時に確認することにより、意識を高める様努める。継続することにより、意識高揚を図る。それぞれ、地域の環境活動への参加も進める。2か月に1回の工場周辺の道路等のゴミ拾い、草取りを行う。

◆環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

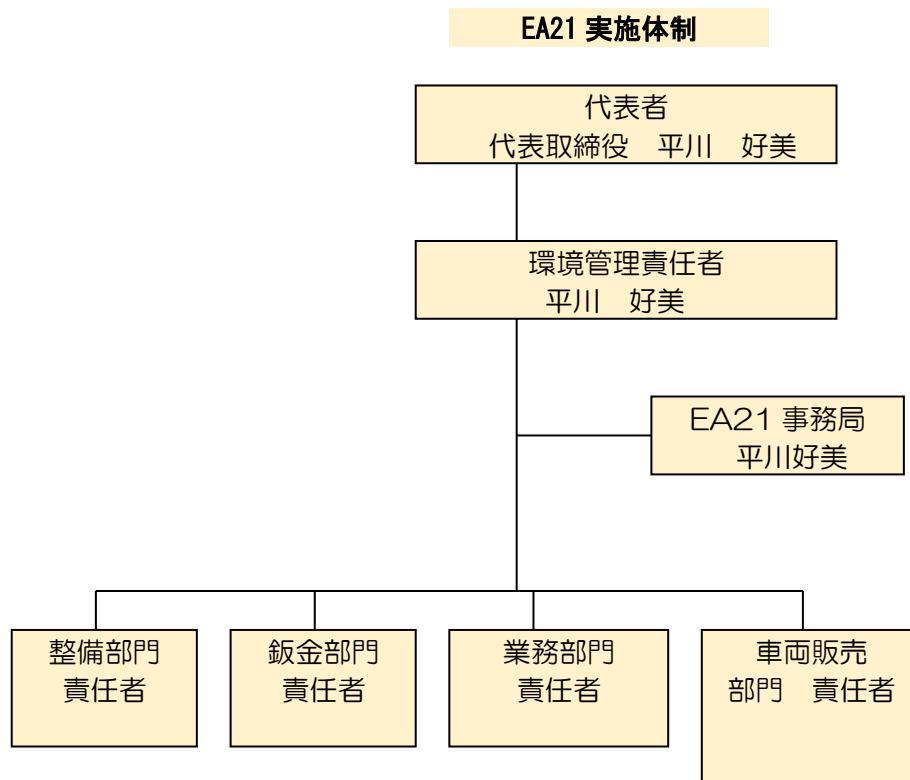
主な適用法規等	該当する活動	遵守状況
環境基本法	事業活動全般	—
資源有効利用促進法	PC廃棄物の排出適正処理	遵守
家電リサイクル法	家電廃棄物の排出適正処理	遵守
グリーン購入法	グリーン購入の推進	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の排出適正処理	遵守
水濁法	排出基準の遵守、環境事故時の処置	遵守
騒音規制法	規制基準の遵守	遵守
振動規制法	規制基準の遵守	遵守
P R T R法（自主規制）	適切な管理と盗難防止	遵守
地球温暖化対策法	事業活動全般	遵守
消防法	消火設備の設置、維持管理、危険物の取扱と保管（指定数量の1／5未満で管理）	遵守
高圧ガス保安法	適切な管理と自主点検、教育の実施	遵守
労働安全衛生法	健康診断の実施	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの自主点検	遵守
使用済自動車の再資源化に関する法律	使用済自動車の適正な処理	遵守

※詳細は、別紙の「環境関係法の体系」「関連法規」に記載しています。

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありませんでした。

◆エコアクション 21、責任体制・実施体制・役割



所 属	役割・責任・権限
代表取締役 平川 好美	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. エコアクション 21 全体の評価と見直しの実施 4. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者 EA21 責任者 平川 好美	1 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2 代表者に対し、環境経営システムの有効性、取組状況の報告 3 推進機関である EA21 事務局の責任者として事務局運営 4 必要な教育・訓練の計画・実施
EA21 事務局 平川 好美	➤ 環境管理責任者を補佐し、従業員の全員参画による EA21 の運営改善を推進する。 1. EA21 関連文書・記録の作成、改廃、伝達の業務を推進する。 2. 毎月の環境負荷データを整理し、従業員に発表できるように準備する。
業務部門 責任者	省資源・省エネルギーの推進、アイドリングストップ・エコドライブの推進、節水・節電・紙消費量の削減、グリーン購入比率のUPを推進する。
整備部門 責任者	CO2 削減のため、整備研究・技術開発、エコ整備・エコ車検・エコアース・窒素ガス充填その他のエコメンテナンスを実施する。
鈑金部門 責任者	リサイクル品の活用及び廃棄物の削減・分別処理、リサイクルペーパーの積極的利用、バッテリー・バンパー・タイヤ・オイル等のリサイクルを流通させる。ごみの分別処理、整理・整頓・清掃・清潔を徹底する。

◆代表者による全体評価と見直し

認証登録以降、環境活動に積極的に取り組み、事業所における環境活動はほぼ達成できたと考えています。これからの車業界は、目まぐるしく変化していきます。車検制度が法整備により2024年10月『OBD車検』が始まり、特定整備作業が義務付けられ、対応できる機械機器等の環境を整備しました。令和5年6月に新事務所が完成し、旧事務所を作業場、室内洗車場に改装し、冷暖房完備で社員の働く環境を整えました。重要な取り組みとして、まず、出来ることから、考えて行動する社員を育成していきます。今後は、顧客に関係する環境活動を展開していきます。お客様が車を大事に大切に安全で長く乗っていただけるよう、提案し続けます。またエコ整備、エコ車検を重点に、啓発に役立つようなパンフレットの見直しをして啓発の道具を工夫し、効果的な啓発の方法を検討していきます。また、新しいことにも挑戦し、お客様に新しい提案ができるよう努めます。

また、SDGsの行動宣言を掲げ、環境に配慮した整備・車両販売を行うとともに、持続可能な車社会の実現に向けて「特定整備事業」への対応を進めていきます。また福利厚生充実やワークバランスの推進に努め、従業員1人ひとりが自身の技術や個性を生かし、気持ちよく働くことができる職場環境を構築していきます。

地域の清掃活動などにも協力していきます

今まで以上に地域に貢献できるような取組を検討します。

なお、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制は継続していきます。



令和7年3月31日

代表取締役 平川好美



光度の違いに注目ください！

ずれ違い	測定結果	ずれ違い	測定結果
高さ	78	高さ	78
上下	100	上下	100
左右	00	左右	00
光度	48	光度	58

*この測定結果は

ヘッドライト再生

HEAD STEAMER カ-コンビ倶楽部 SPASHAN
ヘッドライトリセターズ
ヘッドライトが **クリアに復活!!**
新車のように甦る!!
曇りはみくすみを消し、クリアな透明感を実現!!

Before After

料金価格
（車2台）＋（スプレー）まで ¥15,000円
※20分以内
※カード・クレーン・カメラ
※0973-23-6072

このヘッドライトリセターズは SPASHAN 2025

